

番 号 : 140491

国 名 : ブルキナファソ

担当部署 : 人間開発部基礎教育第二課

案件名 : 初等教育・理数科現職教員研修改善プロジェクトフェーズ2 (理数科指導案作成支援)

1. 担当業務、格付等

- (1) 担当業務 : 理数科指導案作成支援
- (2) 格 付 : 3～4号
- (3) 業務の種類 : 専門家業務

2. 契約予定期間等

- (1) 全体期間 : 2014年8月下旬から2014年12月上旬まで
- (2) 業務M/M : 国内 0. 30M/M、現地 3. 10M/M、合計 3. 40M/M
- (3) 業務日数 :

準備期間	現地調査期間	整理期間
3日	93日	3日

3. 簡易プロポーザル等提出部数、期限、方法

- (1) 簡易プロポーザル提出部数 : 1部
- (2) 見積書提出部数 : 1部
- (3) 提出期限 : 7月16日(12時まで)
- (4) 提出方法 : 専用アドレス (e-propo@jica. go. jp) への電子データの提出又は、
郵送(102-8012 東京都千代田区二番町5番地25二番町センタービル)
(いずれも提出期限時刻必着)

※2014年2月26日以降の業務実施契約(単独型) 公示案件(再公示含む) より、電子媒体による簡易プロポーザルの提出を本格導入しています。

提出方法等詳細についてはJICAホームページ(ホーム>JICAについて>調達情報>お知らせ>「コンサルタント等契約における業務実施契約(単独型)簡易プロポーザルの電子提出本格導入について」(http://www.jica.go.jp/announce/information/20140204_02.html))をご覧ください。なお、JICA本部1階調達部受付での受領は廃止しておりますので、ご持参いただいても受領致しかねます。ご留意ください。

4. 簡易プロポーザル評価項目及び配点

- (1) 業務の実施方針等 :
 - ①業務実施の基本方針 16点
 - ②業務実施上のバックアップ体制等 4点
 - (2) 業務従事者の経験能力 :
 - ①類似業務の経験 40点
 - ②対象国又は同類似地域での業務経験 8点
 - ③語学力 16点
 - ④その他学位、資格等 16点
- (計100点)

類似業務	理数科教育に係る各種業務
対象国/類似地域	ブルキナファソ/全途上国
語学の種類	仏語

5. 条件等

- (1) 参加資格のない社等 : 特になし
- (2) 必要予防接種 :
黄熱 : 入国に際してイエローカード(黄熱病予防接種証明書)が必要です。

6. 業務の背景

ブルキナファソでは、初等教育の機会拡大に重点的に取り組み、就学率向上などの成果が見られる。一方、留年率の高さや学習到達度の低さなどの課題が残っており、「基礎教育開発戦略プログラム（PDSEB：2012-2021）」では、初等教育の質の強化を重点分野としている。教育の質の低さの理由としては、1教室あたりの児童数が過剰であること、教員の能力不足、教育行政官（視学官等）の支援体制が不十分であること、児童の親の教育への関与度が低いこと、カリキュラムの内容が実態とは合わないこと等が挙げられる。

JICAは、2008年1月から2011年1月までの3年間、ブルキナファソ国民教育・識字省（MENA・旧基礎教育識字省（MEBA））をカウンターパート（C/P）機関として、「初等教育・理数科現職教員研修改善プロジェクト（SMASE）」（以下「フェーズ1」）を実施した。プロジェクトが実施したカスケード型研修により、ASEI-PDSI（学習者中心アプローチ）の普及を通じて、対象4県の視学官と教員分科会（GAP）代表者（主に校長）を能力強化した。これにより、GAP研修での質を改善することで教員の能力向上を図り、教室での授業実践が改善した。MENAは、フェーズ1の取り組みを高く評価し、その成果の全国拡大と、授業の質の向上を持続させる仕組み作りに対する支援を、我が国に要請した。これを受け、JICAはMENAをC/P機関として、2012年1月から2015年9月まで3年9ヶ月の予定でフェーズ2を開始し、2名の長期専門家（理数科教育、業務調整/研修運営）を派遣して協力を実施している。同フェーズ2では、授業評価ツールの改訂、研修内容の改善、カスケード型研修実施、GAP研修及び授業モニタリング・評価支援、授業好例の収集を目的とした理数科コンテストの開催、プロジェクト効果の持続性確保のための制度強化等を行っている。

研修活動においては、13県でのカスケード研修と先行4県6基礎教育管区（CEB）での教員対象リフレッシュ研修を実施し、GAP活動の質改善を試みた。しかし、教員組合からの要望により月1回の研修ではなく短期集中型の研修（5日間連続）に切り替えるべく、MENAが2013年末でのGAP廃止を決定したため、プロジェクトは中間レビューを通じて協力内容の見直しを行った。具体的には、毎年実施される学年別の教員研修の機会を通じて引き続きASEI-PDSIをテーマとして現職教員研修を実施するとともに、理数科学習指導案の作成・配布を通じた授業改善を図ることとした。2014年9月に実施される予定の学年別の教員研修会においては、本指導案の実践指導も行う予定としている。

指導案作成は教員の業務として義務付けられているが、教員組合からの要求により、MENAの基礎教育総局（DGEB）が設置した授業準備委員会が全教科に関する指導案を作成することとなった。一方、プロジェクトでは、理数科分野の指導案を作成することとなり、カウンターパート（中央研修講師等）とともに指導案の作成に着手した。ASEI-PDSIに基づく理数科全授業の指導案を教員が作成し、改善した上で全教員に配布することにより教員の能力向上をはかる。指導案の改善は、プロジェクトの中央研修講師や研修済みの視学官、派遣中の理数科教育専門家が参加するワークショップ（WS）にて行い、2014年6月時点で、1学期分の指導案（300指導案）が既に作成済で、MENAによる承認を得ている。残る2、3学期分の指導案を、それぞれ2014年10月、及び11月までに完成させる計画（約360指導案）である。なお、指導案作成支援として第一回目の短期専門家派遣（2014年4月26日～2014年6月18日）を実施し同期間に1学期及び2学期分の一部の指導案作成支援を実施済みである。本件は、これに引き続く形での第二回目の派遣として、2学期分の残り、及び3学期分の指導案の作成を支援するもの。

7. 業務の内容

- ・本業務従事者は、中央研修講師や理数科教育専門家と協力し、質の高い理数科指導案を完成させるための支援を行う。また、本業務を通じてカウンターパートの能力向上を図るもの。

具体的担当事項は次のとおりとする。

（1）国内準備期間（2014年8月下旬）

- ①プロジェクト関係資料（PDM、詳細計画策定調査報告書、事業進捗報告書、中間レビュー報告書案、ホームページ等）のレビューを通じて、プロジェクトの概要及び活動進捗状況を把握する。
- ②プロジェクトから提供される理数科指導案の作成スケジュール（和文及び仏文）、指導案フォーマット（仏文）、修正済指導案例（仏文）を確認する。

- ③現地派遣期間における業務方針・方法等に係るワークプラン(和文及び仏文)を作成し、JICA人間開発部へ提出の上、協議を行う。
- (2) 現地派遣期間(2014年8月下旬～2014年11月下旬)
- ①現地業務開始時に、C/P機関、JICAブルキナファソ事務所、及びプロジェクト専門家にワークプランを提出の上、協議を行う。
- ②C/P及びプロジェクト専門家と連携しながら、C/Pと協働で以下の通り理数科学習指導案を作成・修正する。
- (ア) C/P及びプロジェクト専門家との、指導案の修正方針、作成スケジュール、役割分担の協議および合意
- (イ) プロジェクトが行う指導案修正WSで扱う指導案の事前確認
- (ウ) 指導案修正WSにおける中央研修講師等への修正内容に関する指導・助言
- (エ) 上記(ウ)で修正された指導案の再確認
- (オ) 再確認で発見した記述内容の問題に関する、中央研修講師及びプロジェクト専門家との再修正協議
- (カ) 上記(オ)の結論に基づく再修正を通じた指導案の完成
- ③現地業務完了に際し、C/P機関、プロジェクト専門家及びJICAブルキナファソ事務所に対し、業務の進捗、達成度、助言、提案等を含む現地業務結果報告書(和文及び仏文)を作成、提出し、現地業務結果の報告を行う。
- (3) 帰国後整理期間(2014年12月上旬)
- 専門家業務完了報告書(和文)を作成し、JICA人間開発部に報告する。

8. 成果品等

業務の実施過程で作成、提出する報告書等は以下のとおり。

- (1) ワークプラン(和文、及び仏文4部：JICA人間開発部、プロジェクトチーム、JICAブルキナファソ事務所、C/P機関)
- (2) 現地業務結果報告書
和文2部、及び仏文3部(C/P機関、JICA人間開発部、JICAブルキナファソ事務所)
- (3) 専門家業務完了報告書(和文3部)
記載項目は以下のとおり。
- ①業務の具体的内容
- ②業務の達成状況
- ③業務実施上遭遇した課題とその対処
- ④プロジェクト実施上での残された課題(各種指導案作成にかかわるもの)
- ⑤その他
- C/Pやプロジェクト専門家と協力して作成した「学習指導案」を参考資料として、「現地業務結果報告書」及び「専門家業務完了報告書」に添付すること。体裁は簡易製本とし、電子データを併せて提出することとする。

9. 見積書作成に係る留意点

本公示にかかる見積書の積算を行うにあたっては、「JICAコンサルタント等契約における見積書作成の手引き」

(<http://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/quotation.html>)を参照願います。

留意点は以下のとおり。

- (1) 航空賃及び日当・宿泊料等
航空賃及び日当・宿泊料等は契約に含みます(見積書に計上して下さい)。
航空賃については、成田(羽田)⇒パリ⇒ワガドゥグー(標準)を想定します。
- (2) 直接人件費月額単価

直接人件費月額単価については、平成26年度単価を上限とします。
(<http://www.jica.go.jp/announce/information/20140212.html>)

10. 特記事項

(1) 業務日程／執務環境

①現地業務日程

現地派遣期間は2014年8月30日～2014年11月30日を予定していますが、ある程度の日程調整は可能です。

②現地での業務体制

本業務に係る現地プロジェクトチームの構成は、以下のとおりです（本業務の現地作業期間に派遣されている専門家のみ記載しています）。

- ・ 理数科教育（長期派遣専門家）
- ・ 業務調整／研修運営（長期派遣専門家）

③便宜供与内容

プロジェクトチームによる便宜供与事項は以下のとおりです。

ア) 空港送迎

あり

イ) 宿舍手配

あり

ウ) 車両借上げ

必要な移動に係る車両の提供（市外地域への移動を含む。）

エ) 通訳備上

あり（必要に応じて）

オ) 現地日程のアレンジ

プロジェクトチームが必要に応じてアレンジします。

カ) 執務スペースの提供

教育省内プロジェクトオフィスにおける執務スペース提供（ネット環境完備）

(2) 参考資料

本業務に関する以下の資料が当機構図書館のウェブサイトで公開されています。

- ・ プロジェクト概要 (<http://www.jica.go.jp/project/burkinafaso/003/index.html>)
- ・ 「ブルキナファソ 初等教育・理数科現職教員研修改善計画終了時評価調査報告書」
- ・ 「ブルキナファソ 初等教育・理数科現職教員研修改善計画実施協議報告書(付第一次・第二次事前評価調査報告書)」
- ・ 「ブルキナファソ 初等教育・理数科現職教員研修改善プロジェクト・フェーズ2 (SMASEブルキナ2) 実施協議報告書」
- ・ 「基礎教育セクター情報収集・確認調査 国別基礎教育セクター分析報告書 -ブルキナファソ-」
- ・ プロジェクト基本情報 (ナレッジサイトトップ>プロジェクト情報>スキーム別&国別一覧>プロジェクト基本情報)

(3) その他

①業務実施契約（単独型）については、単独（1名）の業務従事者の提案を求めている制度ですので、複数の業務従事者によるプロポーザルは無効とさせていただきます。

②ブルキナファソ国内での活動においては、JICA安全管理措置を遵守するとともに、JICA総務部安全管理室、JICAブルキナファソ事務所の指示に従い、十分な安全対策措置を講じることとします。

以上